

CentreCOM® FH801u リリースノート

この度は、CentreCOM FH801u をご購入いただき、誠にありがとうございました。
このリリースノートは、付属のマニュアルに記載されていない内容や、ご使用前にご理解いただきたい注意点など、お客様に最新の情報をお知らせするものです。
最初にこのリリースノートをよくお読みになり、本製品を正しくご使用ください。

1 F/W Version 1.14J

2 本バージョンで修正された項目

ソフトウェアバージョン1.13Jから1.14Jへのバージョンアップにおいて、以下の項目が修正されました。

- 2.1 FH801u に対し Telnet を実行した場合、まれに Telnet 機能が停止することがありましたが、これを修正しました。

3 注意事項

- 3.1 下記理由によりF/W Version 1.08J以降、Port Backup機能を削除しました。
Port Backup 機能を使用し、本体の電源のオフ、オンを行った直後の数分間は Port Backup 機能が有効とならないため、ループ状態に構成されたネットワーク環境においてネットワーク停止を含む誤動作を引き起こす可能性があります。
- 3.2 FH801u の「System Configuration」メニュー内の設定(IP Address 等)変更後は、「Restart Hub」メニューにて Restart を行ってください。Restart を行わない場合、設定変更が有効にならないことがあります。
- 3.3 スタック構成されたFH812u/FH824uに使用できるFH801uモジュールは、一枚だけです(同一スタック内に複数のFH801uモジュールは使用できません)。
- 3.4 Version 1.11J以前のF/Wは、Revision B2以降のFH801uモジュールでは動作しません(ただし、F/W Version 1.12Jは、Revision B1以前のFH801uモジュールにインストールしても動作します)。

4 制限事項

- 4.1 メニュー内の「Repeater Statistics」または「Port Statistics」画面、およびRMON-Ether Statisticsグループにおいて、各エラーが正しくカウントされない場合があります。詳細は下記の通りです。

Alignment

- 「Repeater Statistics」画面 → 100M で正常パケット扱いとなります。
「Port Statistics」画面 → 100M で正常パケット扱いとなります。
RMON-Ether Statistics → 100M で正常パケット扱いとなります。

Fragment

- 「Repeater Statistics」画面 → 100M/10Mとも Total Errors にカウントされません。
「Port Statistics」画面 → 100M/10Mとも Runts にカウントされ、Total Errors にカウントされません。
RMON-Ether Statistics → 100M で Undersize 扱いとなります。

Jabber

- 「Repeater Statistics」画面 → 100M/10Mとも Total Errors にカウントされます。
「Port Statistics」画面 → 100M/10Mとも Frames Too Long および Total Errors にカウントされます。
RMON-Ether Statistics → 100M で Oversize 扱いとなります。

Dribble

- 「Repeater Statistics」画面 → 100M で Alignment Errors および Total Errors にカウントされます。
10M で正常パケット扱いとなります。
「Port Statistics」画面 → 100M で Alignment Errors および Total Errors にカウントされます。
10M で正常パケット扱いとなります。
RMON-Ether Statistics → 100M で Alignment 扱いとなります。
10M で正常パケット扱いとなります。

Symbol

- 「Repeater Statistics」画面 → 100M/10M で正常パケット扱いとなります。
「Port Statistics」画面 → 100M/10M で正常パケット扱いとなります。
RMON-Ether Statistics → 100M/10M で正常パケット扱いとなります。

4.2 32回連続でコリジョンが発生した場合、ポートはパーティション状態となります。その際 10M ポートに限り Auto Partitions カウンタは加算されますが、Collisions カウンタは加算されません。コンソール上の統計情報、およびSNMPのコリジョンに関連するカウンタも加算されません。

ただし、通常の運用状況下(32回未満連続コリジョン発生時など)におけるコリジョン発生時には、Collisions カウンタは正しく加算されます。

4.3 NEC社製PC-98シリーズの25ピンRS-232ポートによるコンソール接続はできません(9ピンのRS-232ポートがあるタイプの場合は正常に接続できます)。

5 機能サポート範囲

下記の機能については、現在未サポートとなっております。順次サポートする予定(無償)ですので、ご使用の際はあらかじめご了承ください。

- RMON(Group 4/5/6/7/8)
- Repeater MIB の一部
 - ・ Repeater TopNグループ
 - ・ RptrGroupEntryグループ
 - ・ RptrAddrTrackEntryグループ